

コンパス薬局横浜西スキルアップ勉強会 第155回『エクロックゲル』

科研製薬株式会社 前西 俊一郎様

2022.04.11 松下 武憲

参加者:加藤、相原、松下、岡田、番場、岩橋、大塚

一昨年に原発性腋窩多汗症治療薬ソフピロニウム臭化物（商品エクロックゲル5%）の製造販売が承認された。適応は「原発性腋窩多汗症」、用法用量は「1日1回、適量を腋窩に塗布」となっている。

エクロックゲルは抗コリン作用を有する外用薬で、エクリン汗腺のM3に結合することで発汗シグナル伝達を阻害する。抗コリン薬の内服療法より全身性の副作用の発現リスクも少なく、A型ボツリヌス毒素の局所療法や手術療法などに比べて侵襲性も低い。さらに、塗布具（アプリケーション）により薬液に触れずに患部に塗布できるなど患者の利便性においても有用性が期待されている。

国内第3相比較試験において、発汗重量および自覚症状の指標とした多汗症疾患重症度評価尺度が比較され、基剤群よりも有意に改善した。さらに、その後52週間の第3相長期投与試験でも本薬の有効性および安全性が確認された。

さらに2021年12月より長期処方解禁となり従来の20gボトル（14日分）に加え、40gボトル（28日分）が発売となっている。

【効能・効果】

- ・原発性腋窩多汗症

【用法用量】

- ・1日1回、適量を腋窩に塗布する。

【禁忌】

- ・閉塞隅角緑内障の患者（抗コリン作用により眼圧が上昇し、症状を悪化させることがある。）
- ・前立腺肥大による排尿障害がある患者（抗コリン作用により、尿閉を誘発することがある。）
- ・本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者。

【主な副作用】

皮膚炎、紅斑、そう痒感、湿疹、刺激感、口渇、排尿障害

【重大な副作用】

・好中球減少：白血球減少：血小板減少：骨髓抑制：貧血：感染症：リンパ球減少：発熱性好中球減少症：肺炎：敗血症：発熱：間質性肺疾患：咳嗽：呼吸困難

【薬剤交付時の注意】

・本剤が眼に入った場合、抗コリン作用による散瞳等が発現することがある。また、刺激を感じるがあるので、万一、眼に入った場合は、直ちに水で洗い流すこと。

【薬剤投与時の注意】

・ボトルに充填された本剤を、ポンプで塗布具（アプリケーション）に吐出させ、塗布具を使用して腋窩に塗布すること。

・手に直接吐出させて塗布しないこと。

・手に付着した場合は直ちに手を洗うこと。

・各腋窩あたりポンプ1押し分とすること。

【考察】

今回の勉強会でエクロックゲル製剤見本を使用して使用方法を学びましたが、製剤使用時の注意点も多くこれを如何に分かりやすく簡便に患者さんに伝えるかが初回指導時には必要で、投薬後に一定期間空けてのフォローアップも場合によっては必要ではないかと考えます。

今回のエクロックゲルの適応である原発性腋窩多汗症ですが分かりやすく言いますと明らかな原因となる病気もないのに、脇の汗が多いという症状です。脇汗が多いことで日常生活に支障をきたす多汗症の患者さんの受診率は10%未満と言われており、まだまだ一般的に多汗症は受診が必要な疾患であると認知されているとは言えません。

患者さんの受診ハードルを下げる意図で薬剤師も外部のセミナーや、薬局内における患者さんの相談、皮膚科処方服薬指導を通して介入できればと考えます。

【質疑応答】

・エクロックゲルが衣服などに付着した場合脱色はするのかわ？

→しない。

・腋窩部が多毛な場合剃毛は必要か？

→剃毛は必要なし。

・市販のデオドラントを継続して使用してもいいか？

→使用は問題ない、ただしエクロックゲル使用から6時間はあけること。

・エクロックゲルはどのくらい使用すればいいのかわ？

→対症療法なので汗が気になる期間のみの使用で差し支えない。